

彙報

平成十一年度研究所活動報告

研究会「弘法大師の思想とその展開に関する研究」

平成十一年度は、高木所長、山陰所員に岩崎日出男氏（園田学園女子大学助教）を加え、研究会を五回開催した。発表者とテーマは前号彙報のとおり。

研究会「密教の形成と流伝に関する研究」

平成九年度から二年間にわたって行われた研究成果は、平成十二年一月に『密教の形成と流伝』（高野山大学密教文化研究所紀要 別冊2）として刊行された。所収の論文題目等は前号彙報のとおり。

平成十一年度研究所所員研究業績

高木 諄元

○著書

『空海と最澄の手紙』 法蔵館 一九九九年五月 二八六頁

○論文

「弘法大師空海の入唐求法への軌跡」 『高野山大学密教文化研究所紀要』第三号 二〇〇〇年二月 一―三五頁

○その他

「密なるものの語るコトバ―そは即ち汝なり―」 平成十一年度高野山教師布教研修演録『タット トゥバン アシー 汝がそれなり』 二〇〇〇年二月 四七―九三頁

森 雅秀

○著書

*Fine Hundred Buddhist Deities. Asian Iconography Series No.1. New Delhi, Adroit Publishers, March, 2000 (共著)*

○論文

「灌頂儀礼」 立川武蔵・頼富本宏編『シリーズ密教 1 インド密教』 春秋社 一九九九年五月 一三五―二〇八頁

「マンダラの形と機能」 立川武蔵・頼富本宏編『シリーズ密教 2 チベット密教』 春秋社 一九九九年八月 一九二―二六〇頁

「オリッサ出土の四臂観音―密教図像の成立に関する一考察―」 『高野山大学 密教文化研究所紀要別冊（密教の形成と流伝）』 第二号 二〇〇〇年一月 一一九―一四五頁

「インド密教における成就法と儀礼」 『高野山大学論叢』 第三五巻 二〇〇〇年二月 二三一―四三頁

「青海省同仁県のボン教寺院」 『高野山大学密教文化研究所紀要』 第三号 二〇〇〇年三月 一―八六頁

○口頭発表

「インド密教における成就法の構造」 国際日本文化研究センター共同研究会「聖なるものの形と場」 一九九九年五月

「成就法について」 国立民族学博物館共同研究会「癒しと救いの民族学的研究」 一九九九年六月

“The Bon deities depicted in the wall paintings in the Bon rgya monastery”, New Horizons in Bon Culture in Tibet (チベット文化域におけるボン教文化), National Museum of Ethnology, Senri, August, 1999.

## ○その他

『玄奘と密教』 『三蔵法師のシルクロード』 三蔵の道研究会編  
朝日新聞社 一九九九年六月 一七三頁

- 「東インド・オリッサ州の密教美術 ①密教美術の〈ふるさと〉  
②マンダラの形あれこれ ③神は細部に宿り給う」 『春秋』 第一  
四一一、一四二二、一四一四号 一九九九年八、一〇、一一月 全  
一三頁

## 山陰加春夫

## ○口頭発表

- 「中世文書機能論に関する一、二の問題―南部荘関係史料を中心  
に―」 和歌山地方史研究会例會 一九九九年七月  
「中世高野山の文書・帳簿保管システム」(公開講演) 第三二回  
日本古文書学会大会 一九九九年一〇月  
「中世寺院と社会悪―高野山金剛峯寺の場合―」 平成一一年度  
日本仏教学会学術大会 一九九九年一〇月

## 平成十一年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十一年四月より平成十二年三月

末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力と御支援をお願いいたします。

## 寄贈図書

- 石山寺資料叢書 聖教篇第一 石山寺文化財総合調査団編  
(法蔵館 平成11年3月) 石山寺殿
- 石山寺資料叢書 文学篇第二 石山寺文化財総合調査団編  
(法蔵館 平成11年5月) 石山寺殿
- 大谷大学図書館蔵西蔵大蔵経丹殊爾勒同目錄 2-3  
大谷大学真宗総合研究所西蔵文献研究班編  
(大谷大学真宗総合研究所 平成9年3月) 発行者殿
- 大山公淳先徳聞書集成 第4巻 (他宗部)  
大山公淳和尚報恩刊行會編  
(東方出版 平成11年5月) 甲田博史殿
- オリッサ州カタック地区の密教図像の研究 (平成8-10年度科学研究費補助金(基盤研究(C))(2)) 研究成果報告書  
森 雅秀著 (森雅秀 平成11年3月) 著者殿
- 共生と平和の生き方を求めて(法華経からのメッセージ)  
中央学術研究所社会倫理研究会編  
(校成出版社 平成11年9月) 編著者殿
- 龜茲壁画芸術叢書 1・2 新疆龜茲石窟研究所編  
(新疆美術攝影出版社 1993年4月) 森雅秀殿
- 空海と最澄の手紙 高木神元著 (法蔵館 平成11年5月) 著者殿
- 弘法大師の救済論(密教における霊と輪廻) 村上保壽著  
(高野山出版社 平成11年3月) 著者殿

- 高野山大学論叢 第35巻 高野山大学編  
(高野山大学 平成12年2月) 発行者殿
- 高野山霊宝館年表 高野山霊宝館編  
(高野山霊宝館 平成11年4月) 編者殿
- 高野山麓天野の文化と民俗 日野西真定他編  
(天野歴史文化保存会 平成11年10月) 谷口妙照殿
- 高野山大宝蔵展 第20回(国宝仏涅槃契図―応徳三年銘―)  
高野山霊宝館編(高野山霊宝館 平成10年7月) 発行者殿
- 西遊記のシルクロード『三蔵法師の道』  
朝日新聞社文化企画局大阪企画部編  
(朝日新聞社 平成二年) 甲田博史殿
- 三蔵法師のシルクロード 高橋徹著・後藤正写真  
(朝日新聞社 平成11年6月) 森雅秀殿
- 宗教実践の視点による仏教美術とキリスト教美術の比較研究(平成9・10年度科学研究費補助金(基盤研究B(1))研究成果報告書)  
宮治昭他著(宮治昭 平成11年3月) 森雅秀殿
- シリーズ密教 1(インド密教) 立川武蔵他編  
(春秋社 平成11年5月) 森雅秀殿
- 神道古典研究所紀要 第5号 神道古典研究所編  
(神道大系編纂会 平成11年3月) 発行者殿
- 神道資料叢刊 5(御巫清直未公刊資料集 神宮神事考証拾遺)  
八幡宗経他編(皇学館大学神道研究所 平成8年3月) 発行者殿
- 生と死―生命の諸相―(生命倫理講座講義録・平成9年度)  
高野山大学生命倫理研究会編
- 生と死―いのちを考える―(生命倫理講座講義録・平成10年度)  
高野山大学生命倫理研究会編  
(高野山大学 平成10年3月) 発行者殿
- WWWサーバによる日本史データベースのマルチメディア化と公開に関する研究(1996年度～1998年度科学研究費補助金基盤研究(A)(2))研究成果報告書 加藤友康編  
(東京大学史料編纂所 加藤友康 平成11年3月) 発行者殿
- 中央大学人文科学研究叢書20(近代ヨーロッパ芸術思潮)  
中央大学人文科学研究所編  
(中央大学出版部 平成11年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究叢書21  
(民国前期中国と東アジアの変動) 中央大学人文科学研究所編  
(中央大学出版部 平成11年3月) 編者殿
- 智山伝法院選書 第6号(大般若会 その成り立ちと意義)  
(智山伝法院 平成11年10月) 発行者殿
- 女人高野 室生寺のみ仏たち 奈良国立博物館他編  
(読売新聞社 平成11年7月) 甲田博史殿
- 日本史学文献目録(1997(平成9)年度版)  
学術文献刊行会編(朋文出版 平成12年2月) 編者殿
- 日本史の中の女性と仏教 吉田一彦他著(法蔵館 平成11年11月)  
光華女子大学・短期大学真宗文化研究所殿
- 拔萃のつゞり 59 熊平製作所編(熊平製作所 平成12年1月) 発行者殿
- パリー学仏教文化学 12・13 パリー学仏教文化学会編

- (パリ)学仏教文化学会 平成10・11年(12月) 高野山大学殿
- 仏教図書館協会研修会講演・講義録 第2回  
(龍谷大学大宮図書館 平成10年3月) 高野山大学図書館殿
- 豊山長谷寺拾遺 第2輯 元興寺文化財研究所編  
(長谷寺文化財等保存調査委員会 平成11年5月) 長谷寺殿
- 明神講表白 (高野山住職会) 発行者殿
- 密教文化 201～203 密教研究会編  
(密教研究会 平成10～11年) 発行者殿
- 編旨・院宣の網羅的収集による帰納的研究(1996年度～1998年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書)  
近藤成一編 (東京大学史料編纂所 近藤成一 平成11年3月) 発行者殿
- 六卷本『金剛頂瑜伽中略出念誦法』の研究(慈覚大師講来本校訂訳注篇) 大正大学総合仏教研究所金剛頂経研究会編著  
(ノンブル社 平成11年3月) 編著者殿
- Yasuhiro Sueki, *Bibliographical Sources for Buddhist Studies from the Viewpoint of Buddhist Philology Adventa: 1*, Bibliographia Indica et Buddhica 3, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 1999. 発行者殿
- Klon gsal snin po, *Collected Revelations and Writings of Rig 'dzin Klon gsal snin po*, 12 vols. Darjeeling: 3rd Zhichen Bairo Rinpoche, 1997. 甲田博史殿
- Bdud 'dul Rdo rje, *Collected Revelations and Writing of Spo bo Gterston Bdud 'dul Rdo rje*, 12 vols. Darjeeling: 3rd Zhichen Bairo Rinpoche, 1997. 甲田博史殿
- S.Rinpoche, J.Pandey, ed., *Dhīh, Journal of Rare Buddhist Texts Research 24*, Sarnath: Central Institute of Higher Tibetan Studies, 1999. 森雅秀殿
- Hiroki Oka, ed., *Facet of Transformation of the Northeast Asian Countries: 2*, Northeast Asian Study Series 3, Sendai: Center for Northeast Asian Studies Tohoku University, 1999. 発行者殿
- Kiyosuke Terayama, ed., *High Temperature Superconductivity, New Materials and Properties*, Northeast Asian Study Series 4, Northeast Asian Study Series 1, Sendai: Center for Northeast Asian Studies Tohoku University, 1999. 発行者殿
- International Research Center for Japanese Studies, *Nichibunkan Japan Review: No.11*, Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 1999. 発行者殿
- Institute of Buddhist Studies, ed., *Journal of the Institute of Buddhist Studies: No.1*, Pacific World Third Series, Berkeley: Institute of Buddhist Studies, 1999. 発行者殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *Theragatha, Pada Index and Reverse Pada Index*, P.A.M.: 12, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 1997. 発行者殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *Theragatha, Pada Index and Reverse Pada Index*, P.A.M.: 13, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 1998. 発行者殿
- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka, *Sutta-Nipata, Pada Index and Reverse Pada Index*, P.A.M.: 14, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 1998. 発行者殿

- Morichi Yamazaki, Yumi Ousaka. *A Word Index and reverse Word Index to Early Jain Canonical Texts*. P.A.M. 15, Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 1999. 発行者殿
- Yusei Arai, Shingon Esoteric Buddhism: A handbook for Followers. Koyasan: Koyasan Shingon Mission, 1997. 高野山真言宗教学部殿
- M.M.Deshpande, tr. and ed., *Mūlādopāṅka-Athakāṅha*. SPB.M. 13, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 1999. 発行者殿
- Oyasato Research Institute Tenri University, *Tenri Journal of Religion*, No.26. Tenri: Tenri University Press, 1998. 発行者殿
- Antony Boussemart, Un erudit de l'école Shingon Toki Horyu 土直法龍, 1998. 藤田光寛殿
- 交換寄贈雑誌
- 1 愛知学院大学文学部紀要〈第28号〉  
愛知学院大学文学会 (同会・平成11年3月)
  - 2 あふひ・AOI〈第5号〉  
京都産業大学日本文化研究所 (同研究所・平成11年9月)
  - 3 アジア・アフリカ文化研究所研究年報〈第33号〉(一九九八年度)〈  
東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編  
(同研究所・平成11年3月)
  - 4 アジア研究所紀要〈第25号〉  
亜細亜大学アジア研究所編 (同研究所・平成11年3月)
  - 5 アジア文化研究〈25〉  
国際基督教大学アジア文化研究所編
- 6 大倉山論集〈第43、44輯〉  
大倉精神文化研究所編 (同研究所・平成11年3、12月)
  - 7 九州大谷研究紀要〈第26号〉 九州大谷学会編  
(九州大谷短期大学内九州大谷学会・平成12年3月)
  - 8 教化研修〈第43号〉  
曹洞宗教化研修所編 (同研修所・平成11年3月)
  - 9 京都産業大学日本文化研究所紀要〈第4号〉(一九九八年度)〈  
京都産業大学日本文化研究所編 (同研究所・平成11年3月)
  - 10 京都女子大学宗教・文化研究所紀要〈第12、13号〉  
京都女子大学宗教・文化研究所編 (同大学・平成11、12年3月)
  - 11 紀州経済史文化史研究所紀要〈第19号〉  
和歌山大学紀州経済史文化史研究所 (同大学・平成11、12年3月)
  - 12 現代密教〈第11、12合併号〉  
智山伝法院 (同院・平成11年3月)
  - 13 光華女子短期大学研究紀要〈第37集〉  
光華女子短期大学編 (同大学・平成11年12月)
  - 14 光華女子大学研究紀要〈第37号〉  
光華女子大学編 (同大学・平成11年12月)
  - 15 皇学館大学神道研究所紀要〈第15輯〉  
皇学館大学神道研究所編 (同研究所・平成11年3月)
  - 16 高野山大学大学院紀要〈第3号〉  
高野山大学大学院文学研究科編

- 17 国際シンポジウム〈第11—A集、International Comparative Studies of Negotiating Behavior〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成10年3月）
- 18 国際シンポジウム〈第11—B集、Interdisciplinary Perspectives on the Origins of the Japanese〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成11年3月）
- 19 国際日本文学研究集会議録〈第22回（一九九八）〉  
国文学研究資料館編（同資料館・平成11年10月）
- 20 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第2号〉  
国際仏教学大学院大学（同大学・平成11年3月）
- 21 国士館大学文学部人文学会紀要〈第31、32号〉  
国士館大学人文学会編（同会・平成10年10月、11年12月）
- 22 嵯峨美術短期大学紀要〈第25号〉  
嵯峨美術短期大学編（同大学・平成11年12月）
- 23 種智院大学密教資料研究所紀要〈第2号〉  
種智院大学密教資料研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 24 真宗文化〈第8号〉  
光華女子大学・光華女子短期大学真宗文化研究所  
（同研究所・平成11年7月）
- 25 城西大学国際文化研究所紀要〈第5号〉  
城西大学国際文化研究所編（同研究所・平成11年11月）
- 26 上智アジア学〈第16号〉 『上智アジア学』編集委員会編  
（上智大学アジア文化研究所・平成10年12月）
- 27 人文研紀要〈第34—36号〉 中央大学人文科学研究所  
（同研究所・平成11年2月）
- 28 人文研ブックレット8（ループル美術館のドゥノン）  
水野明路著（中央大学人文科学研究所・平成10年12月）
- 29 人文研ブックレット9（「ヘンデルとグレーテル」の森）  
飯豊道男著（中央大学人文科学研究所・平成12年2月）
- 30 人文研ブックレット10  
『哲学と文学 エルンスト・マツハをめぐる』  
木田元著（中央大学人文科学研究所・平成12年3月）
- 31 人文研ブックレット11（誰がジョイスを殺したか？）  
大沢正佳著（中央大学人文科学研究所・平成12年3月）
- 32 西山学報〈第47号〉 西山短期大学（同大学・平成11年6月）
- 33 禅研究所紀要〈第28号〉  
愛知学院大学禅研究所（同研究所・平成12年3月）
- 34 善通寺教学振興会紀要〈第5号〉  
善通寺教学振興会（同会・平成10年12月）
- 35 中央学術研究所紀要〈第28号〉  
中央学術研究所編（同研究所・平成11年12月）
- 36 中央学術研究所紀要モノグラフ篇No.1  
〈原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究1〉  
森章司・中島克久著（中央学術研究所・平成11年7月）
- 37 中央大学人文科学研究所年報〈第20号（一九九八）〉  
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成11年3月）
- 38 地域と社会〈第2号〉  
大阪商業大学比較地域研究所編（同研究所・平成11年10月）
- 39 筑紫女学園短期大学紀要〈第35号〉

- 40 筑紫女学園大学紀要〈第12号〉  
筑紫女学園大学編（同大学・平成12年1月）
- 41 智山教化センター年報〈第3号〉  
智山教化センター（同センター・平成12年1月）
- 42 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第4号〉  
鶴見大学（同大学・平成11年8月）
- 43 天台学报〈第41号〉 天台学会編（叡山学院・平成11年11月）
- 44 天理大学おやさと研究所年報〈第5号（一九九八）〉  
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 45 東京成徳大学研究紀要〈第6号〉  
東京成徳大学編（同大学・平成11年3月）
- 46 東京大学史料編纂所研究紀要〈第9号〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成11年3月）
- 47 東京大学史料編纂所報〈第33、34号（一九九七、九八年度）〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成11年3月）
- 48 東京立正女子短期大学紀要〈第27号〉  
東京立正女子短期大学編（同大学・平成11年3月）
- 49 東西南北（一九九九）  
和光大学総合文化研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 50 東北アジア研究〈第3号〉  
東北大学東北アジア研究センター広報委員会編  
（同センター・平成11年3月）
- 51 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第31号〉  
東北学院大学東北文化研究所編（同研究所・平成11年8月）
- 52 東北学院大学論集〈歴史学・地理学 第32、33号〉  
東北学院大学術研究会  
（同研究会・平成11年9月、12年2月）
- 53 東北福祉大学研究紀要〈第23巻〉  
東北福祉大学編（同大学・平成11年2月）
- 54 東洋学術研究〈第38巻第2号〉  
東洋哲学研究所（同研究所・平成11年11月）
- 55 東洋学論叢〈23、24〉 東洋大学文学部印度哲学科編  
（同大学文学部・平成10、11年3月）
- 56 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第6、7号（東洋大学文学部紀要  
第51、52集）〉 東洋大学文学部中国哲学文学科編  
（同大同学部・平成10、11年3月）
- 57 東洋哲学論叢〈創刊号〉  
早稲田大学東洋思想研究会編（同会・平成4年6月）
- 58 東洋の思想と宗教〈第16号〉  
早稲田大学東洋哲学会編（同学会・平成11年3月）
- 59 トルコ国際シンポジウム〈The Introduction of Modern Science  
and Technology to Turkey and Japan〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成10年3月）
- 60 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第18号〉  
同朋大学仏教文化研究所編（同研究所・平成11年8月）
- 61 同朋大学論叢〈第80号〉  
同朋大学同朋学会（同学会・平成11年6月）
- 62 同朋仏教〈第34、35号〉  
同朋大学仏教学会編（同学会・平成11年3、7月）

- 63 奈良大学紀要〈第28号〉 奈良大学編（同大学・平成12年3月）
- 64 成田山仏教研究所紀要〈第22号〉  
成田山仏教研究所（同研究所・平成11年3月）
- 65 二松学舎大学東洋学研究所集刊〈第1〜29集〉  
二松学舎大学東洋学研究所（同研究所・昭和46〜平成11年）  
日文研〈21号〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成11年2月）
- 66 日本研究〈第19集〉  
国際日本文化研究センター編（同センター・平成11年6月）
- 67 日本語と日本語教育〈第27、28号〉  
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編（同センター・平成11、12年3月）
- 68 比較文化〈第13号〉 中央学院大学比較文化研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 69 福井県立大学論集〈第14、15号〉  
福井県立大学編（同大学・平成11年2、7月）
- 70 仏教学研究〈第54、55号〉  
龍谷大学仏教学会編（同学会・平成10、11年3月）
- 71 仏教研究〈第28号〉 国際仏教徒協会編（同協会・平成11年3月）  
仏教大学総合研究所紀要〈第6号〉  
仏教大学総合研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 72 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 浄土教の総合的研究〉  
仏教大学総合研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 73 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 現代社会における人間観の探究〉  
仏教大学総合研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 74 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第29冊〉  
仏教美術研究上野記念財団助成研究会編（同会・平成11年3月）
- 75 仏教文化〈第38号〉 東京大学仏教青年会（同会・平成10年12月）  
仏教文化研究論集〈第3号〉  
東京大学仏教青年会（同会・平成11年3月）
- 76 平和と宗教〈第18号〉  
庭野平和財団平和研究会編（同財団・平成11年12月）
- 77 北陸宗教文化〈第11号〉  
金沢大学文学部比較文化学研究室内北陸宗教文化学会（同学会・平成11年3月）
- 78 密教学〈第34、35号〉  
種智院大学密教学会編（同学会・平成11年3月）
- 79 身延山大学東洋文化研究所報〈第3号〉  
身延山大学東洋文化研究所編（同研究所・平成11年3月）
- 80 身延論叢〈第4号〉  
身延論叢編集委員会編（身延山大学仏教学会・平成11年3月）
- 81 民具マンスリー〈第32巻 1〜11号〉  
神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所・平成11年4月〜12年2月）
- 82 龍谷史壇〈第111〜113号〉  
龍谷大学史学会編（同学会・平成11年3、10月）
- 83 龍谷大学論集〈第445〜448、452、454号〉  
龍谷学会編（同学会・平成7年2月〜11年7月）
- 84 立正大学人文科学研究所年報〈第36号〉



立正大学人文科学研究所編（同研究所・平成11年3月）  
立正大学人文科学研究所年報（別冊第13号）

立正大学人文科学研究所編（同研究所・平成11年3月）  
歴史と民俗（16）

90 神奈川大学日本常民文化研究所編（平凡社・平成12年3月）  
論叢アジアの文化と思想（第6〜8号）

アジアの文化と思想の会編（早稲田大学文学部東洋哲学研究  
室内アジアの文化と思想の会・平成9〜11年12月）

### 平成十二年密教文化研究所だより

共同研究「弘法大師の思想とその展開」および「密教の形成と流伝」は、高木所長、森・山陰所員、岩崎研究員の他、越智淳仁（高野山大学教授）・室寺義仁（高野山大学助教授）両氏を加え、本年度からは合同で研究会を行なっている。それぞれの主要テーマのもと、特に個別テーマは絞り込まず、参加メンバーが各自関心のあるテーマに基づいて研究成果を発表した。九月には特別研究会として岡村圭真先生（高知大学名誉教授）をお迎えし、伝統教学にとられない斬新な発想の一端を披瀝していただいた。又、一月には研究所で進めつつある画像資料のデジタル化に関連して、国内外の博物館・美術館での実績がある岡山コンテンツ株式会社、小野博社長をお迎えして特別講演会を開催した。

平成12年5月15日 越智淳仁「大乘仏教から密教へ―『華嚴経』

の加持を中心に―」

6月19日 高木諄元「般若三藏と空海」

7月24日 室寺義仁「諸仏との遭遇のための三要件について―功德力・加持力・法界力への展開―」

9月29日 岡村圭真「大師の教学思想解明の新視点」

10月30日 森 雅秀「インドにおける密教美術の成立と展開―インド・バングラデシ現地調査報告―」

12月4日 岩崎日出男「般若三藏にかかわる二三の問題について」

12月18日 山陰加春夫「中世寺院と「身分外身分」の呼びと―「承和の御遺誠」の再解釈をめぐって―」

平成13年1月31日 小野 博「デジタルアーカイブの課題と事例」  
2月15日 河 廷龍（受託研究員）「韓国古代の土俗信仰と密教」

平成十二年四月一日から一年間、河廷龍氏（韓国、滋賀県立大学人間文化地域文化学科客員研究員）を、同九月一日から一年間、ディビッド・ガーディナー氏（アメリカ、コロラド大学助教授）を、それぞれ密教文化研究所受託研究員として受け入れている。専門は河氏が韓国古代史、ガーディナー氏が『弁頭密二教論』の研究である。

### 南アジアにおける

### 密教画像の形成と展開に関する研究

密教文化研究所は日本私立学校振興・共済事業団より、平成一二年度の学術研究振興資金の交付を受けた。研究テーマは「南アジアにお

ける密教圖像の形成と展開に関する研究」である。研究代表者は高木神元（研究所長・高野山大学教授）、研究分担者は森雅秀（専従研究所員・高野山大学助教授）、乾仁志（高野山大学助教授）、奥山直司（高野山大学助教授）で、合計四名で構成される。本研究の目的、方法、特色は以下の通りである。

### ◎研究目的

本研究では、インドを中心とする南アジアにおいて、密教の圖像がどのように形成され、継承されていったかを、現地調査と文献研究にもとづいて明らかにする。インド仏教の最終的な段階である密教の時代には、膨大な数の尊格が登場し、その姿が彫刻や絵画で表現されたが、その形成と展開は必ずしも明らかではなかった。この研究ではインドを中心に、大乘仏教やヒンドゥー教の美術も視野に入れて、現存する造形作品からそれらを明らかにする。現地調査によって収集された圖像資料は、研究所がすでに所蔵する資料と合わせてデジタル化し、画像データベースを構築する。さらに密教文献に含まれる情報とあわせて、インターネット上で公開する。

### ◎研究計画

初年度である平成一二年度は、インドにおける密教圖像の形成に焦点を当てて研究を進める。夏期にインドおよびバングラデシュにおいて現地調査を行い、主要な仏教遺跡や博物館において、密教美術もしくはそれに先行するグプタ期の仏教美術の造形作品を調査する。写真撮影、実測、主な特徴の記述、銘文の読解等を進める。帰国後は収集したデータの処理を進めるとともに、デジタル化を進める。これと平

行して、密教文献に含まれる図像学的情報を網羅的に集め、主要な特徴とヴァリエーションについてのデータベースを尊格ごとに作成する。研究分担者の間で担当する地域や尊格を決め、これらのデータにもとづいて研究経過の報告を行う。

### ◎研究の特色

わが国の密教美術研究は、国内の作品に関しては相当の研究の蓄積があるが、南アジアを対象とする研究は歴史が浅く、作品に対する関心も低い。研究分担者はいずれもインドをはじめとする南アジア諸地域での豊富な現地調査の経験を持ち、その一方で密教の文献にも精通している。本研究を通じて、密教美術の画像資料が網羅的に収集されるとともに、文献に含まれる図像学的な情報との関係も明らかになる。これを通じて密教圖像の形成と展開に関する仮説や理論の構築が期待される。それはわが国を含むアジア諸国の密教美術を考察するための理論的モデルともなりうる。また収集した圖像資料を中心とした画像データベースをインターネット上で公開することで、ひろく内外の研究者による閲覧検索が可能となる。

これらの研究活動の成果は、『高野山大学密教文化研究所紀要』等において、順次公表していく予定であるが、このうち、現地調査に関しては、研究分担者の森雅秀助教授が、研究計画にしたがって、平成一二年八月二日より九月八日の一八日間にわたって実施した。その概要は以下の通りである。

### ◎日程および調査地

八月二日 出国、ムンバイ（ボンベイ）着

- 八月二三日 エレファンタ島。オーランガバードへ移動  
八月二四日 アジャンター石窟  
八月二五日 エローラ石窟  
八月二六日 ピタルコーラ石窟、エローラ石窟  
八月二七日 オーランガバード石窟。ムンバイへ移動  
八月二八日 カーンヘリー石窟  
八月二九日 ブバネーシュワルへ移動  
八月三〇日 ラングリヒル、ラトナギリ、ウダヤギリ  
八月三一日 ブバネーシュワル、コナーラク  
九月一日 カルカッタへ移動  
九月二日 カルカッタ・インド博物館。ダッカへ移動  
九月三日 ラジシャヒへ移動。ヴァレーンドラ博物館  
九月四日 マハースタン、パハルプール  
九月五日 ダッカへ移動。ダッカ国立博物館  
九月六日 ダッカ国立博物館、マイナマティ遺跡  
九月七日 バングラデシュ出国  
九月八日 帰国

密教文化研究所構成員名簿 (平成十二年十二月現在)

所長

高木 諄元 (文学部教授)

専従研究所員

高木 諄元 (文学部教授)

〃

森 雅秀 (文学部助教)

兼任研究所員

越智 淳仁 (文学部教授)

〃

山陰加春夫 (文学部教授)

〃

室寺 義仁 (文学部助教)

委託研究員

岩崎日出男 (園田学園女子大学国際文化学部助教)

顧問

松長 有慶 (名誉教授)

研究所課長補佐

甲田 博史

専門員

甲田 博史

書記

北原 裕全

〃

中原 祥徳

〃

三星みや子 (非常勤)

【教職員人事】

○退任 平成十二年三月三十一日付

高木 諄元 専従研究所員

森 雅秀 〃

山陰加春夫 兼任研究所員

北原 裕全 専任研究員

岩崎日出男 委託研究員

○就任 平成十二年四月一日付

高木 諄元 専従研究所員

森 雅秀 〃

越智 淳仁 兼任研究所員

山陰加春夫 〃

室寺 義仁 〃

岩崎日出男 委託研究員

## 高野山大学密教文化研究所規程

### (総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三

九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

### (目的)

第二条 この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

### (事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

### (研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
  - ② 総合研究部門
- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における

3 密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。  
総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域について総合的な比較研究を行う。

### (職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

### (研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。  
3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

### (研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が学長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。  
2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。  
3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。  
4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。  
5 専従研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。  
6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究

又は事業に従事する。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。

2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第二三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。
- 第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。
- (1) 研究所長
  - (2) 専従研究所員
  - (3) 「紀要」編集担当者
- 2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所課長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。
- 第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によつて議長を選出する。
- 第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。
- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
  - (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
  - (2) 研究所員
  - (3) 研究員
  - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会に、寄稿者に補筆および修正を求められることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

## (設置)

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。

## (目的)

第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。

## (構成)

第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。

2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。

## (任務)

第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。

2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。

## (任期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

## (改廃)

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

## 附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。



執筆者紹介 (掲載順)

高木 諄元 密教文化研究所所長・専従研究所員

(文学部教授)

越智 淳仁 密教文化研究所兼任研究所員

(文学部教授)

室寺 義仁 密教文化研究所兼任研究所員

(文学部助教授)

森 雅秀 密教文化研究所専従研究所員

(文学部助教授)

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十四号をお届けいたします。今号には高木諄元、越智淳仁、室寺義仁、森雅秀各先生の論文を掲載いたしました。高木・越智・室寺各先生の論文は、彙報の報告のとおり、今年度行なわれた当研究所の共同研究会による成果の一部です。

今号刊行時は既に二十一世紀が幕を開けていますが、昨年来の万事ミレニアムぶりには少々閉口させられます。東洋の精神文化を主要テーマとするはずのわれわれも、いかに日常社会が欧米の西暦に寄りかかって流れているかを実感させられます。とはいえ、何らかのきっかけがものを動かすのも現実で、私立大学そのものが厳しい状況にある中、学術的水準を維持・発展させるためには、附置研究所の果たすべき役割は誠に大きいものがあります。今後の更なる御支援をお願いいたします。

(甲田記)

高野山大学密教文化研究所紀要 第十四号

平成十三年二月二十一日 印刷

平成十三年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 高木 諄元

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (0735) 561335 電資 61336

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-131-1

電話 (06) 64515716 電資 5510013